

UNI-PEX

取扱説明書 (保証書付)

窓口通話システム

操作ユニット+アンプ

UMU-100

ゲースネックマイク

UME-100

別付アルミ管

UAX-100

ドライバー+音響管ユニット

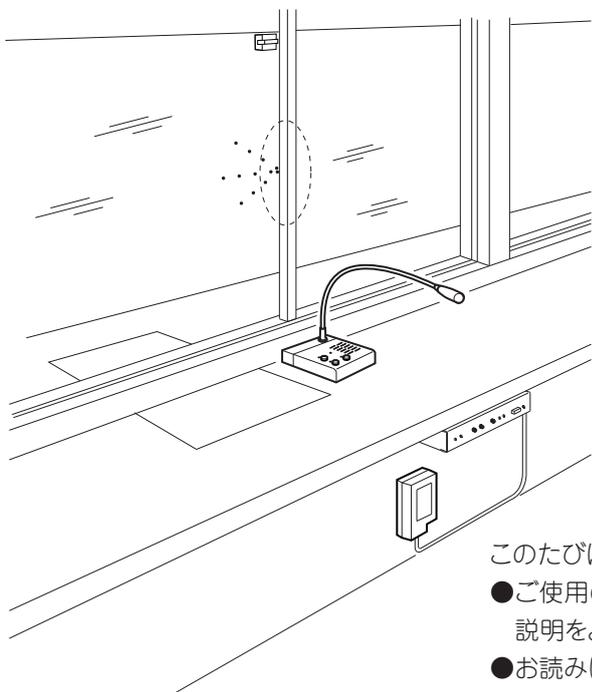
UAI-100

別置きマイク

UME-150

人体センサー

USE-100



このたびは、窓口通話システムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

目次

安全上のご注意	1~3	・ページング用スピーカーの配置	14
設置・使用上のご注意/免責事項/本機を長期間お使いの場合	3~4	設置作業	15~31
特長	4	・設置作業の流れ	15
取り扱い説明	5	・通線	15
各部の名称と説明	6~7	・ドライバー+音響管ユニット部の取り付け・接続	16~27
システムを構成する製品	8~9	・別置きマイクと外部スピーカーの取り付け・接続	28
設置前の確認~設置後の調節までの流れ	10	・室内機器の取り付け・接続	29~31
設定	10~11	調節	32~33
必要となる主な材料と工具	12	総合接続図	34
機器配置と数量の決定	12~14	定格	35
・係員様側の機器配置	12	外観寸法図	36~37
・ドライバー+音響管ユニット部の数量決定とお客様側の機器配置	13	サポートのご案内	38
・別置きマイク/スピーカーの数量決定とお客様側の機器配置	14	保証書	39~40

安全上のご注意 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

<p>異常が起きたときは、ただちに使用をやめる 煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなどの異常が起きると、火災・感電の原因となります。ただちにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。</p>	
<p>分解／改造はしない 火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。</p>	
<p>異物を入れない／濡らさない 水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。</p>	
<p>指定された仕様のACアダプターのみ使用する 指定以外の製品を使用した場合、火災や感電の原因となります。</p>	
<p>濡れた手で、ACアダプターを抜き差ししない 感電の原因となります。</p>	
<p>通風孔をふさがない 通風孔をふさいだり、ものを乗せたり、通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。</p>	
<p>この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。</p>	
<p>この機器を水滴のかかる場所に置かない 中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。</p>	
<p>ACアダプターのコードを傷つけない コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、熱器具に近づけたりすると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。</p>	
<p>この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かない 火災の原因となります。</p>	
<p>雷が鳴り出したら、接続コードやACアダプターのプラグには触れない 感電の原因となります。</p>	
<p>電線またはDC出力端子を短絡させない 火災や感電の原因となることがあります。</p>	

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

<p>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p>不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>	
<p>工事は工事店に依頼する 工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。</p>	
<p>異常に温度が高くなる場所に放置しない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p>	
<p>長期間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く 火災の原因となることがあります。</p>	
<p>お手入れの際はACアダプターをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。</p>	

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

<p>本機を電源コンセントの近くに置いて使用する 万一の事故防止のため、すぐに電源コンセントからACアダプターを抜けるようにして使用してください。</p>	
<p>電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。</p>	
<p>ACアダプターのコード、スピーカーコードを熱器具に近づけない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p>長時間音が歪んだ状態で使わない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>	
<p>ACアダプターを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。</p>	
<p>ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p>	
<p>移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。</p>	 <p>プラグをコンセントから抜け</p>
<p>この機器に乗ったり腰掛けたりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。</p>	
<p>アースを正しく接続する アース端子付きの製品は、アースに正しく接続してください。正しく接続されていない場合、火災や故障の原因になります。</p>	
<p>廃棄は専門の業者に依頼する 燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。</p>	
<p>1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。</p>	

設置・使用上のご注意

- 本製品は防滴形ではありません。雨のかかる場所に設置しないでください。
- 放送局のアンテナが近くにある地域では、無線周波数の干渉がシステムに影響を与える可能性があります。
- 本製品は、漏電などの電源障害時は動作不能になります。
- 落下すると、装置が破損することがあります。取り扱いには注意してください。
- 他のメーカーの製品をこのシステムで使用する場合、メーカーやベンダーが提示する仕様と保証条件に準拠します。
- 停止しているか正常動作していない場合、電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 雑音発生の原因になる機器の近くに設置しないでください。OA機器、ラジオやテレビなどの近くに設置した場合、無線周波数の干渉がシステムに影響します。設置場所は慎重に選んでください。
- 点検や修理のしやすい場所に設置し、保守点検を怠らず、必要に応じて修理を行ってください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など。
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害。
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行われた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害。
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害。
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり、故障したり、事故の原因となることがあります。

下記①～④の様な状態ではないか、日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら、直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

※特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに、買い換えの検討をお願いします。

- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特長

○チケット販売ブースなどで、係員様とお客様との会話に使用する窓口通話システムです。

○音響管スピーカーとノイズキャンセルマイクロホンを組み合わせた、新しい音響管システムを採用していますので、明瞭な音質と豊かな音量で会話することができます。

※従来の方式でもご使用いただけるよう、外部スピーカーと別置きマイクもご用意しております。

○新しい音響管システムの採用で、バリアガラスに穴を開けることなく機器を設置できるようになりました。音響管は1本の細い管状ですので、係員様やお客様の視界を遮ることもありません。

○音響管システムにはノイズキャンセルマイクロホン回路を組み込んでいます。周囲の騒音の影響を軽減して、お客様の音声を正確に聞き取ることができます。

○会話のための操作は必要ありません。お客様の音声は常に集音しているので、聞き逃すことはありません。係員様の音声は検出回路で検出し、自動的に送出されますので、スムーズにご使用頂けます。

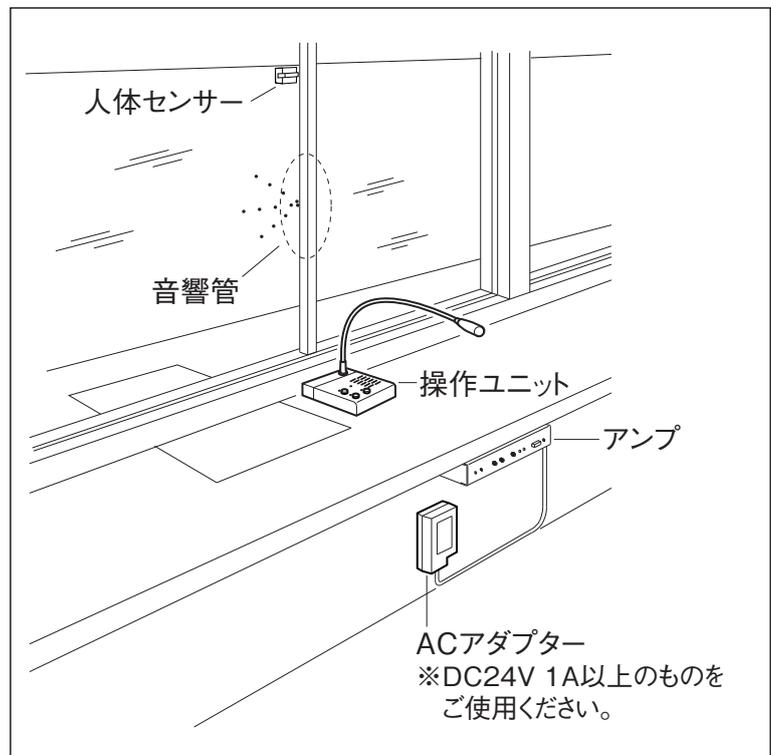
○係員様が席を立つときやブース内の音声を送る必要が無い時は、通話スイッチを切るだけで、待ち受け状態にすることができます。

※お客様がいない時は自動的に待ち受け状態にする、人体センサーもご用意しています(自動作動システム)。

○周囲騒音が変化したときや聞こえが弱いお客様などに対応するために、音量を大小2段階に切り替えられる音量スイッチを設けています。

○外の待合室などへの呼び出し放送が簡単にできるようにページング機能を内蔵しています。

※別途にページング用スピーカーを設置する必要があります。



取り扱い説明

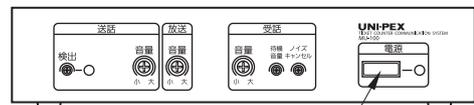
ご使用前に

- ・設置前の確認～設置後の調節作業(10～33ページ参照)が終了し、電源が接続されていることを確認してください。

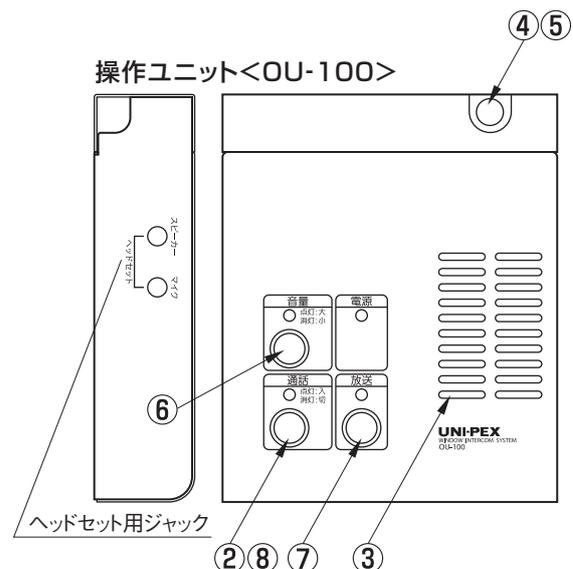
ご使用の手順

- ①はじめに[アンプ]の電源スイッチを押して入れてください。緑色のランプが点灯し、使用可能になります。
- ②[操作ユニット]の通話スイッチを押してONにしてください。橙色のランプが点灯し、会話が可能になります。(注1)
- ③お客様側からの音声は[操作ユニット]に内蔵の受話用スピーカーから聞こえます。(注2)
- ④係員様は[操作ユニット]のグースネックマイクに向かってお話しください。検出機能により係員様の音声を検出し、お客様側のスピーカーから出力します。出力中は、お客様側からの音声は自動的に遮断されます。(注2)
- ⑤検出機能により、係員様側からの声は自動的に優先されている(係員様の音声を検出中は、お客様の音声が遮断されている)ことを、意識しながらお話しください。
- ⑥必要に応じて[操作ユニット]の音量スイッチ「大/小」を切り替えながらお使いください。「大」のとき、橙色LEDが点灯します。
- ⑦放送スイッチを押しながら送話すると、通話スイッチが「切」の状態でも、ページング用スピーカーから呼び出しや案内の放送ができます。押ししている間は橙色LEDが点灯します。終了する場合は、手を離してください。
- ⑧待機状態にするときは[操作ユニット]の通話スイッチを「切」にしてください。送話は停止され、受話は減音して待機状態になります。(注1)
- ⑨使用を終了するときは、[アンプ]の電源スイッチを押して電源を切ってください。

アンプ<MU-100>



操作ユニット<OU-100>



ご注意

(注1)人体センサーなどの外付けスイッチをご使用のときは、設置時の設定により使い方に違いがあります。次のことに注意してください。

■設定が[AND]のとき

- ・通話スイッチと外付けスイッチが、共に「入」になっている間は会話が可能です。

■設定が[OR]のとき

- ・通話スイッチまたは外付けスイッチの、いずれか一方だけでも「入」になっていれば、その間は会話が可能です。

(注2)ヘッドセットを接続しているときは、受話音はヘッドセットのスピーカーから聞こえます。送話はヘッドセットのマイクに向かって行ってください。

各部の名称と説明

操作ユニット (OU-100)

電源表示灯

- ・ [アンプ]の電源スイッチを押して電源を入れると、[アンプ]と[操作ユニット]の電源表示灯(緑色LED)が点灯します。

グースネックマイク <UME-100>

- ・ 送話用のマイクロホンです。できるだけ口元に近づけてお話しください。(注1)

音量スイッチ

- ・ 使用中の音量を「大」「小」に切り替えます。送話、受話およびページング放送の音量が「大/小」2段階に切り替わります。
- ・ このスイッチを押すと橙色LEDが点灯し、音量が「大」に切り替わります。
- ・ もう一度押すと橙色LEDが消灯し、音量が「小」に戻ります。

ヘッドセット用ジャック

- (ヘッドセットを使用しているとき)
- ・ このコネクタにヘッドセットを接続して使用します。
 - ・ ヘッドセットのスピーカープラグをスピーカージャックに接続し、マイクプラグをマイクジャックに接続してください。
 - ・ ヘッドセットのマイクは、エレクトレットコンデンサータイプのものをご使用ください。

通話スイッチ

- ・ このスイッチを押すと橙色LEDが点灯し、会話ができるようになります。
- ・ もう一度押すと橙色LEDが消灯し、会話ができません(送話は停止され、受話は減音されて待機状態になります)。(注2)

放送スイッチ

- ・ 押しながらページング放送を行うスイッチです。
- ・ このスイッチを押すと橙色LEDが点灯し、押しながらページング放送が行えます。離すと橙色LEDが消灯し、ページング放送は停止します。(注3)

受話用スピーカー

- ・ 受話用のスピーカーが内蔵されています。お客様の音声はここから聞こえます。(注1)

ご注意

- (注1)ヘッドセットを接続しているときは、受話音はヘッドセットのスピーカーから聞こえます。送話はヘッドセットのマイクに向かって行ってください。
- (注2)人体センサーなどの外付けスイッチをご使用のときは、設置時の設定により使い方に違いがありますので、5ページの(注1)もお読みください。
- (注3)別途にページング用スピーカーを設置する必要があります。また、ページング放送は送話／受話／待機のいずれの状態でも優先して行えます。

アンプ (MU-100)

放送音量調節器

- ・ ページング放送用スピーカーから出る係員様の音声の大きさを調節します。
- ・ ハウリング(キーンという音)を起こさないように注意しながら、適した音量に調節してください。(注4)(注5)

送話音量調節器

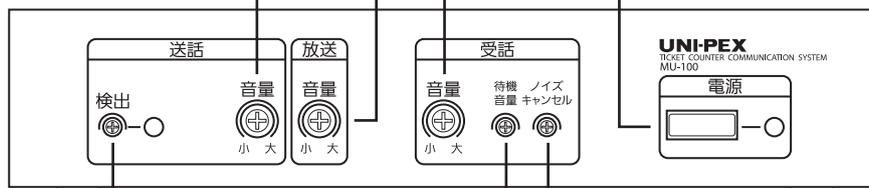
- ・ お客様側のスピーカーから出る係員様の音声の大きさを調節します。
- ・ ハウリング(キーンという音)を起こさないように注意しながら、適した音量に調節してください。(注4)

受話音量調節器

- ・ [操作ユニット]に内蔵の受話用スピーカー(またはヘッドセット)から出るお客様の音声の大きさを調節します。
- ・ ハウリング(キーンという音)を起こさないように注意しながら、適した音量に調節してください。(注4)

電源スイッチ

- ・ このスイッチを押すと緑色LEDが点灯し、システムに電源が入ります。
- ・ もう一度押すと緑色LEDが消灯し、電源が切れます。



検出感度調節器

- ・ 送話の音声検出感度を調節します。
- ・ 係員様側のマイクロホンで話しながら調節します。音声を検出中は緑LEDが点灯します。
- ・ 検出中は係員様側の音声が優先され、お客様側の音声が遮断されます。
- ・ お客様側できちんと声が聞き取れるように調節してください。時計回りに廻すほど感度が上がります。(注6)

ノイズキャンセル量調節器

- ・ お客様側のマイクロホンは、周囲騒音の影響を軽減する機能を持っていますので、お客様の音声が聞き取りやすく、軽減したい騒音をできるだけ感じにくくなるよう調節してください。(32～33ページ「調節」参照)

待機音量調節器

- ・ [操作ユニット]の通話スイッチを「切」にしているとき、受話用スピーカー(またはヘッドセット)から弱音で聞こえてくるお客様側からの音声の大きさを調節します。
- ・ 時計回りに廻して最大で、ONのときの1/2の音量です。反時計回りに廻して最小で、無音です。
- ・ 適した音量に調節してください。(注4)

ご注意

- (注4) [操作ユニット]の音量スイッチを「大」にして行ってください。
- (注5) 別途にページング放送用スピーカーを設置する必要があります。
- (注6) 感度を上げすぎると、周囲騒音や受話音などに反応して、会話がしづらくなる場合があります。注意してください。

システムを構成する製品

- システムを構成する製品は次の通りです。
- 開梱時には機器や付属品が正しく入っていることを確認してください。

★音響管方式は **音響管方式** に、別置マイク／スピーカー方式は **別置MIC／SP方式** に、二つの方式に共通する場合は **共通** に説明を記載しています。

1 操作ユニット+アンプ<UMU-100>

共通

・アンプ<MU-100>

- | | | | | | |
|------------|---------------|-------------------|-------------------|--------------|-----------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | | | | | |
| ①アンプ……………1 | ②取り付け金具……………1 | ③本体-金具連結用ねじ……………4 | ④カウンター取付用ねじ……………4 | ⑤取扱説明書……………1 | ⑥設定用ドライバー……………1 |

・操作ユニット<OU-100>

- | | | |
|---|---|---------------|
| 7 | 8 | |
| | | |
| | | ⑦操作ユニット……………1 |
| | | ⑧接続ケーブル……………1 |

2 ドライバー+音響管ユニット<UAI-100>

音響管方式

・ドライバー<DR-100>

- | | | | |
|---|---|---|---------------|
| 1 | 2 | 3 | |
| | | | |
| | | | ①ドライバー……………1 |
| | | | ②取付用木ねじ……………2 |
| | | | ③ゴムノズル……………1 |

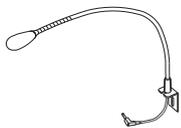
・音響管ユニット<AI-100>

- | | | | |
|----------------|---|-------------------|---|
| 4 | 5 | 6 | 7 |
| | | | |
| ④音響管ユニット……………1 | | ⑥固定フランジ……………1 | |
| ⑤仮付け用治具……………1 | | ⑦カウンター取付用ねじ……………1 | |

3 グースネックマイク<UME-100>

共通

1

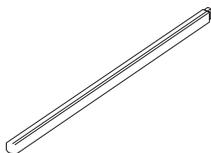


①グースネックマイク……………1

4 別付アルミ管<UAX-100>

音響管方式

1

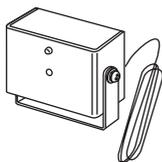


①別付アルミ管……………1

5 人体センサー<USE-100>

共通

1



2



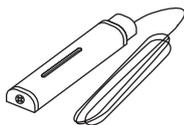
①人体センサー……………1

②取付用ねじ……………2

6 別置きマイク<UME-150>

別置MIC/SP方式

1



①別置きマイク……………1

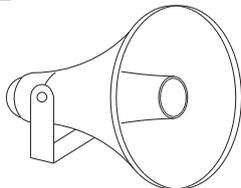
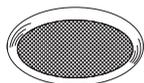
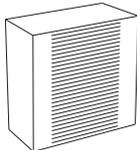
7 ページング用スピーカー(別売)

共通

キャビネットスピーカー

ホーンスピーカー

天井埋込スピーカー



・インピーダンス4Ω~8Ω、定格入力3W以上のスピーカーをお選びください。

8 外部スピーカー(別売)

別置MIC/SP方式

コンパクト2ウェイスピーカー

①外部スピーカー……………1



設置前の確認～設置後の調節までの流れ

○作業の流れは次の通りです。詳細は各ページをご確認ください。

① 設定ピンの状態を確認し、必要に応じて差し替える。(10～11ページ「設定」)

・ [アンプ] 内部の設定ピンを確認し、必要に応じて差し替えてください。

② 必要となる工具と材料を準備する。(12ページ「必要となる主な材料と工具」)

・ 設置作業には幾つかの工具と材料が必要です。作業前に準備しておいてください。

③ 機器配置と数量を決定する。(12～14ページ「機器配置と数量の決定」)

・ 作業前に、機能的に操作できる機器配置と必要となる機器の数量を決定してください。

④ 設置作業を行う。(15～31ページ「設置作業」)

・ 設置作業を行ってください。

⑤ [アンプ] の音量と検出感度などを調節する。(32～33ページ「調節」)

・ 使用状況に応じて、[アンプ] の各調節器で、音量と検出感度などを調節してください。

設 定

設定を始める前に

- ・ はじめに、[アンプ] 内部の設定ピンが出荷時の状態〔OR式〕になっていることを確認してください。
- ・ システムに人体センサーなどの外付けスイッチをご使用になる場合、必要に応じて設定ピンを差し替えてください。ご使用時の設定〔AND〕式あるいは〔OR〕式が切り替わります。
- ・ この設定は、ユーザーに使用方法を確認して、設置する前に行ってください。

○次の説明をよくお読みになり、ユーザーの確認を取った上で、設定を行ってください(次ページ参照)。

◆設定ピンを〔AND〕式に設定した場合

★通話スイッチと外付けスイッチが、ともに「入」になっている間は会話が可能です。

通話状態になるとき

・ [操作ユニット] の通話スイッチと外付けスイッチとが共に「入」になると、会話が可能になります。

待機状態になるとき

・ [操作ユニット] の通話スイッチまたは外付けスイッチのいずれか一方が「切」になると、会話ができなくなります。

◆設定ピンを〔OR〕式に設定した場合

★通話スイッチまたは外付けスイッチのいずれか一方だけでも「入」になっている間は会話が可能です。

※出荷時の設定です。

通話状態になるとき

・ [操作ユニット] の通話スイッチまたは外付けスイッチのいずれか一方が「入」になると、会話が可能になります。

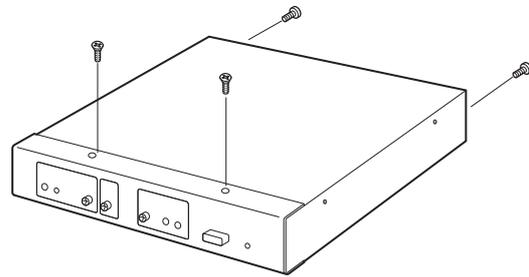
待機状態になるとき

・ [操作ユニット] の通話スイッチと外付けスイッチとが共に「切」になると、会話ができなくなります。

設定の手順

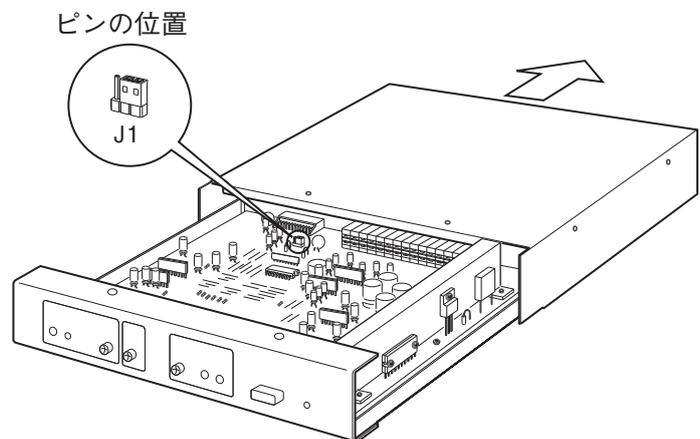
①カバーを取り外す。

- [アンプ] のカバーを外してください。
前面パネルの上の2本のねじと、後面の2本のねじを外して、カバーをゆっくり後ろへ引いて、外してください。



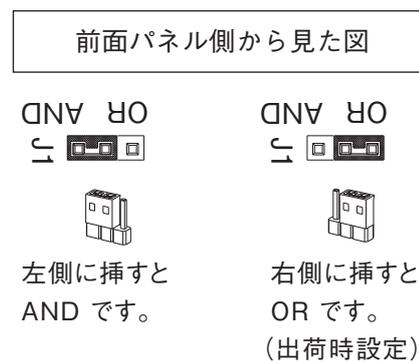
②ピンを確認する。

- [AND] 式あるいは [OR] 式に差し替える設定ピン J1 を確認してください。
設定ピン J1 は内部のプリント基板上にあります。



③ピンを希望する側に挿す。

- プリント基板上的表示 (AND と OR) を確認して、ピンを希望する側に挿してください。
※ 出荷時は [OR] 側に挿してあります。



④カバーを取り付ける。

- 設定が済んだら、カバーを元通りに取り付けて終了です。

必要となる主な材料と工具

○設置作業に必要な主な工具および材料は次の通りです。作業に取りかかる前に、準備しておいてください。

◆主な材料

- ・両面接着テープ…アルミとガラス面を接着する強力な工業用テープを用意してください。
音響管方式の場合は、使用する音響管類の合計長に50cm程度を加えた長さを準備してください。別置きマイク式の場合は10cm程度を準備してください。
- ・接続用ケーブル…マイク用ケーブルとして2芯シールド電線、スピーカー用ケーブルとしてAWG19(φ0.9mm)程度の電線を準備してください。それぞれマイク/スピーカーから本体ユニットまでの長さが必要です。
- ・清掃剤……………接着面を清掃する洗剤です(両面接着テープの接着力に影響を与えないもの)。

◆特別な工具

- ・金のコ……………音響管(アルミ)を切断するために使用。
- ・平やすり……………音響管の切断面を仕上げるために使用。

機器配置と数量の決定

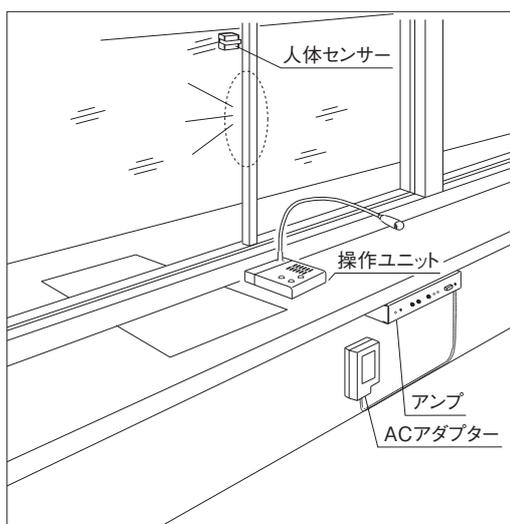
○設置作業の前に、各機器の配置と必要となる数量をよく検討してください。

○あらかじめユーザーに確認し、各機器を機能的に操作できるように、配置を決めてください。

★音響管方式は **音響管方式** に、別置きマイク/スピーカー方式は **別置きMIC/SP方式** に、二つの方式に共通する場合は **共通** に説明を記載しています。

係員様側の機器配置

共通



○アンプは、机板の下側などに配置してください。
付属の取付金具で固定できます。

○操作ユニットは、窓口機の左右いずれかの、操作しやすいところに配置してください。

○ACアダプターは、電源供給コンセントと本体ユニット間の置きやすいところに配置してください。

ご注意

配線をするために机板や壁に穴をあけたりする作業は、機器を配置する前に行ってください。

ドライバー+音響管ユニット部の数量決定とお客様側の機器配置

音響管方式

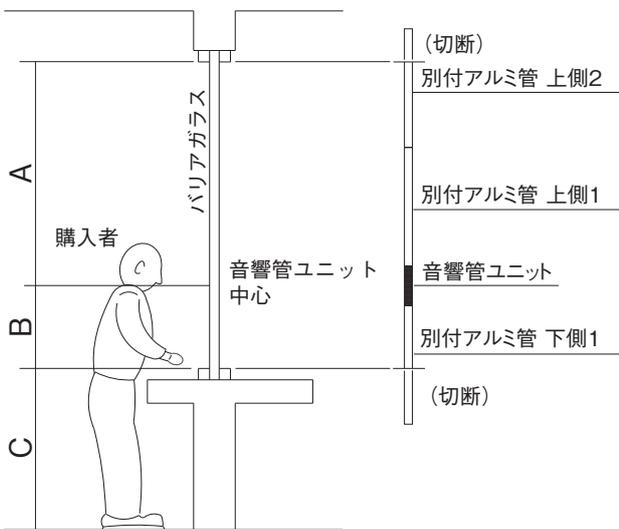
1 数量の決定

◆音響管ユニット<AI-100>の数量

- ・音響管ユニット<AI-100>は必ず1本使用します。

◆別付アルミ管<UAX-100>の数量

- ・別付アルミ管<UAX-100>は全長1mのチューブです。
- ・別付アルミ管<UAX-100>は音響管ユニット<AI-100>の上方と下方に必ず必要です。
- ・図を参考にして、取り付けをするバリアガラスの垂直寸法を測定し、別付アルミ管<UAX-100>の必要本数を決定してください。



○はじめに性別・年齢を考慮したお客様の平均身長を想定し、係員様と会話をするときの口の高さを、ガラス面にマークしてください(普通はやや下へうつむいて会話します)。その高さが、音響管ユニットの中心になります。

※キャッシュトレイ(入出金口)が音声の通る形状の場合、お子様との会話用穴として利用できますので、お子様を平均値の想定から除外することができます。

○測定し決定した寸法は、設置時に使用しますので、記録しておいてください。

2 お客様側の機器配置

○例を参考にして、バリアガラスの外側の配置を決めてください。



○音響管ユニットの中心は、お客様の口の高さにしてください。配置は、口の位置から左右いずれかの適した側に300mm~400mm離れた位置が最適です。

○ドライバーはガラス面と天井面(サッシ)が接する位置に取り付けます。

○別付アルミ管は垂直に取り付けてください。

○取り付けは、ガラス面に貼り付けるだけでなく、上の天井面側と下のカウンター側ともに、必ずねじを使用して固定してください。

ご注意

音響管や別付アルミ管に水や洗剤が入ると故障の原因になります。配置に注意してください。

機器配置と数量の決定

別置きマイク／外部スピーカーの数量決定とお客様側の機器配置 別置MIC／SP方式

1 数量の決定

◆別置きマイク<UME-150>の数量

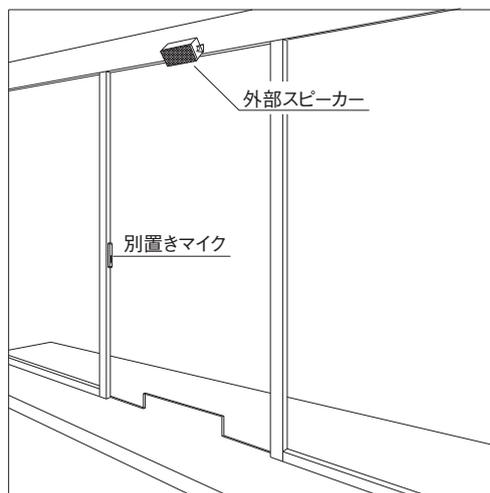
- ・ 1台使用します。
- ※別置きマイク<UME-150>は、エレクトレットコンデンサー型のマイクロホンです。

◆外部スピーカーの数量

- ・ 1台使用します。
- ※アンプ<MU-100>に接続できる外部スピーカーは、インピーダンスが4～8Ωで、定格入力3W以上のスピーカーです。

2 お客様側の機器配置

○例を参考にして、ハリアガラスの外側の機器配置を決めてください。



- マイク部分がお客様の口の高さで、左右には300mm～400mm離れた位置が最適です。垂直の建築サッシなどに沿わせて取り付けることをお奨めします。
- スピーカーはお客様の頭上方向の聞きやすい位置に取り付けてください。
- 配線はサッシの中を通すか、モールなどを使用して行ってください。

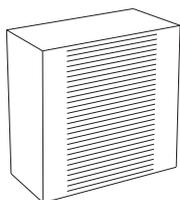
ご注意

マイク内部に水や洗剤が入ると故障の原因になります。配置に注意してください。

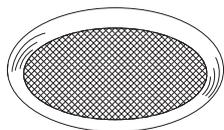
ページング用スピーカーの配置 共通

- ページング放送を行うシステムの場合のみ、ページング用スピーカーが必要になります。
- 定格入力3W以上で4Ω～8Ωのスピーカーを使用してください。
- 次のような種類のスピーカーが使用できます。

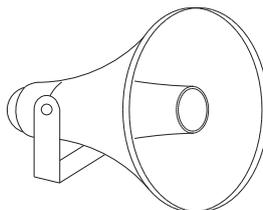
キャビネットスピーカー



天井埋込スピーカー



ホーンスピーカー



ご注意 放送エリアに対して有効な位置に取り付けてください。

設置作業

設置作業の流れ

- 各機器の数量と配置が決定したら、機器の設置作業（通線と取り付け・接続）を行います。
- 設置作業の流れは次の通りです。詳細は各ページをご確認ください。

- ①通線(15ページ)
- ②音響管ユニット部の取り付け・接続(16～27ページ)
- ③別置きマイクと外部スピーカーの取り付け・接続(28ページ)
- ④室内機器の取り付け・接続(29～31ページ)

★音響管方式は **音響管方式** に、別置マイク／スピーカー方式は **別置MIC／SP方式** に、二つの方式に共通する場合は **共通** に説明を記載しています。

通 線

共 通

- 操作ユニット<OU-100>とアンプ<MU-100>の間の接続は、操作ユニットに付属の専用ケーブルで行ってください。

◆受話入力マイク線の通線

- シールド効果が高い、2芯シールド電線を使用してください。
- アンプの端子台と、マイクからのコードをジョイントします。
- 接続は極性に注意して行ってください。

◆送話出力スピーカー線の通線

- AWG19(φ0.9mm)程度の電線を使用してください。
- アンプの端子台と、スピーカーからのコードをジョイントします。
- スピーカー用電線はツイストされたものが適しています。
- 接続は極性に注意して行ってください。

設置作業

ドライバー+音響管ユニット部の取り付け・接続

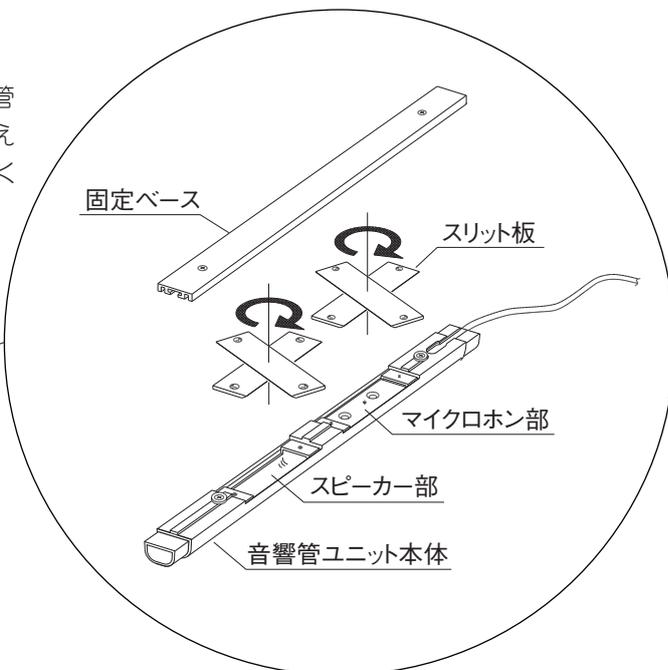
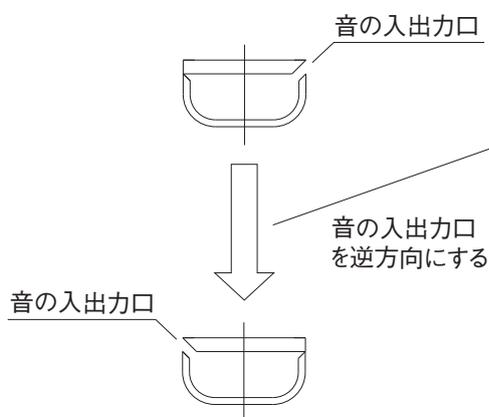
音響管方式

1 取り付けの準備

①音の入出力口の方向を調整する。

○決定した取り付け位置が、お客様側から見て左側の場合は、音響管ユニット<AI-100>は出荷時のまま取り付けることができます。

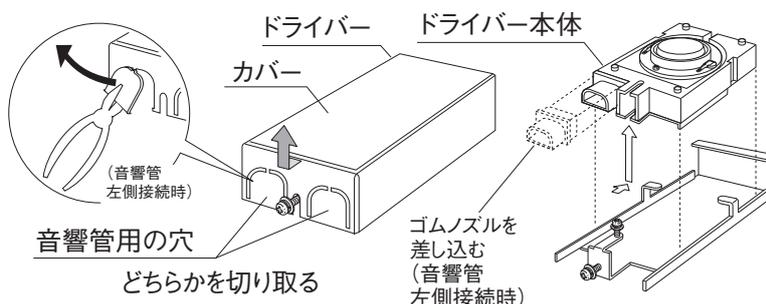
○お客様側から見て右側の場合は、図を参考にして、音響管ユニットの(スリット板)を2枚とも左右逆向きに付け替えて、音の入出力口(スリット)が逆方向になるようにしてください。



②ドライバー<DR-100>からドライバー本体を取り外す。

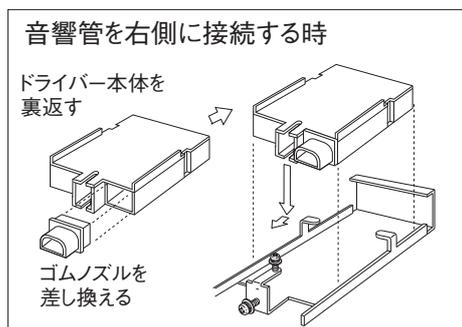
○ドライバー<DR-100>のカバーを開け、中のドライバー本体を取り外しておいてください。

※シャーシは先にガラス面に貼り付け、ドライバー本体とカバーは後で再び取り付けます。



○音響管は右側にも接続することができます。

図を参考にしてください。



③ 貼り付け位置周辺を清掃する。

○音響管ユニットなどを貼り付ける位置や、その周辺のガラス面を、エタノールなどで清掃してください。

※バリアガラスが樹脂製の場合もあります。樹脂などを侵さない清掃剤を使用してください。

※周囲のシール剤への影響にも注意してください。

④ 貼り付けのガイドラインを引く。

○図を参考にして、音響管ユニットと別付アルミ管を垂直に貼り付けるためのガイドラインを、ガラス面上端から下端まで引いてください。

重要

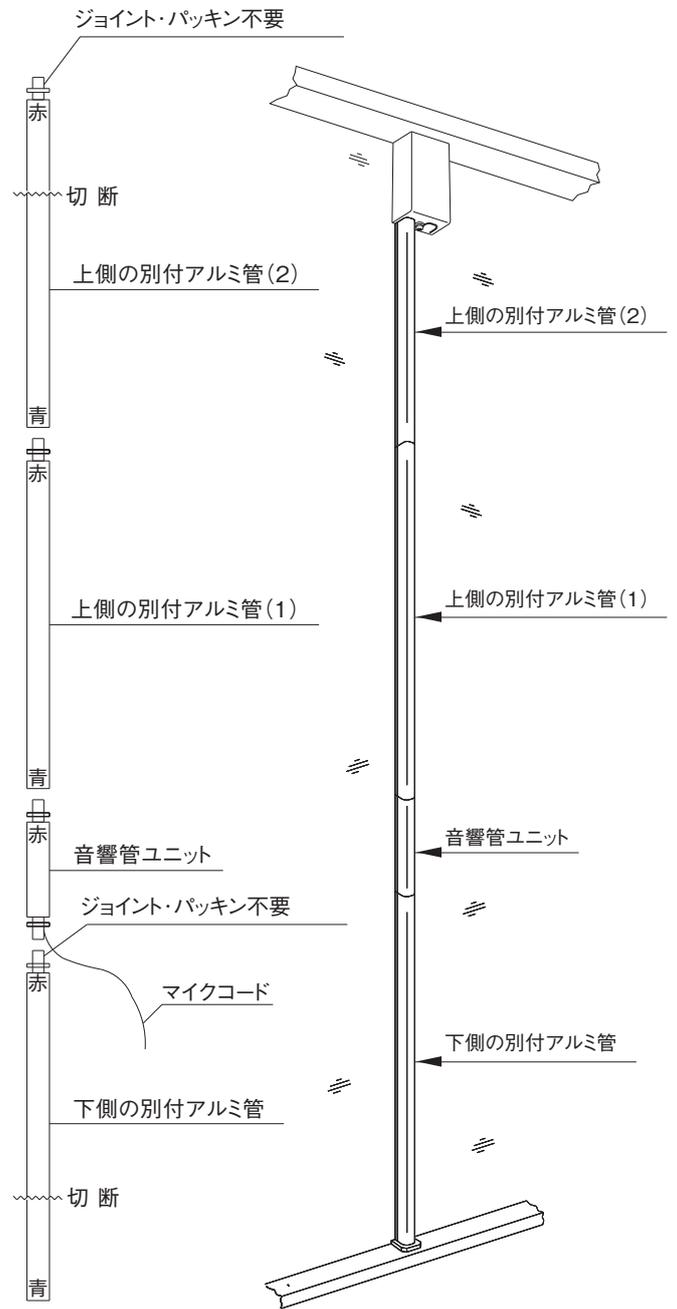
音響管ユニットと別付アルミ管は、上下に連結して組み立てます。ガイドラインは、正しく垂直に引いてください。

重要

取り付けには、「ドライバー+音響管ユニット部の数量決定」(13ページ)で記録した位置数値を利用してください。

ご注意

取付位置を変更すると別付アルミ管の数量が足りなくなることがあります。ご注意ください。



設置作業

2 取り付けの手順

① 固定フランジを取り付ける。

○固定フランジは、下方につける別付けアルミ管の下端を固定します。お客様側のカウンターに付属のねじと両面接着テープで固定してください。

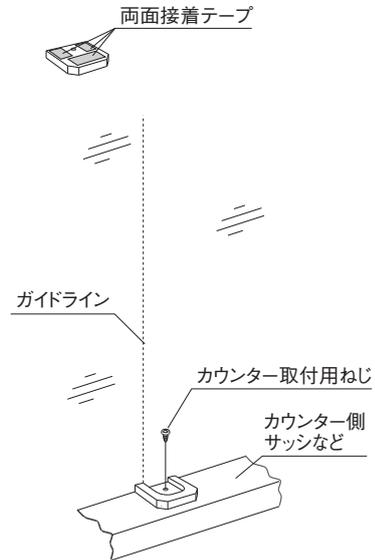
①仮に別付アルミ管<UAX-100>を挿し込み、ガイドラインとも合わせながら位置決めをしてカウンターへの下穴加工を行ってください。

ご注意

固定フランジと別付アルミ管<UAX-100>に両面接着テープの厚みが加わることを見込んで位置決めをしてください。また固定フランジ自身の厚み2mmも考慮してください。

※固定フランジ2mm+両面テープ厚み

②位置が確定したらカウンターへ両面接着テープで貼り付け、更にねじで固定してください。

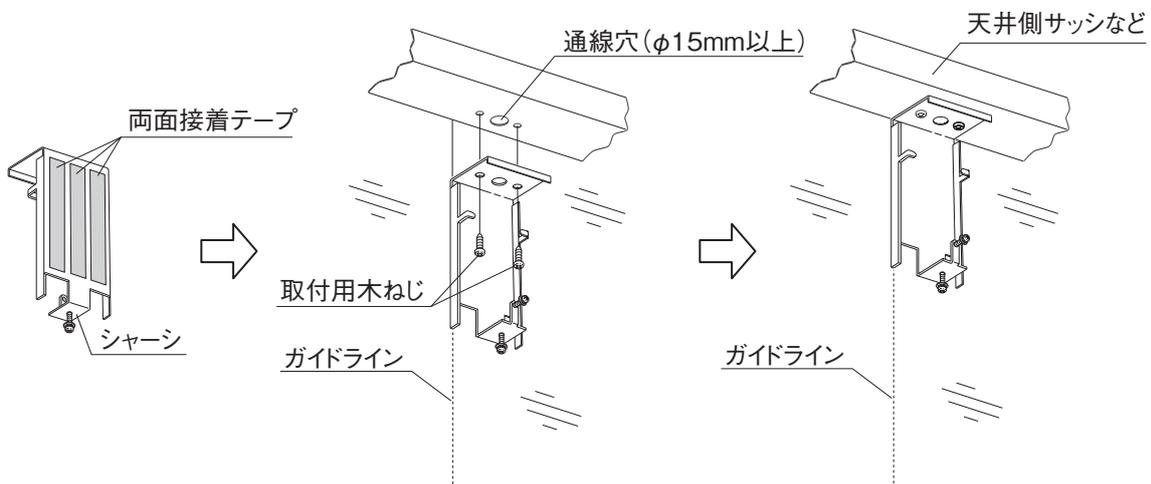


② ドライバー<DR-100>のシャーシを取り付ける。

○ドライバーは上側の別付けアルミ管の上端と結合されます。シャーシをガラス面が天井に接する位置に付属のネジと両面接着テープで固定してください。

①ガイドラインと合わせながら位置決めをして、天井面への下穴加工を行ってください。
※位置決めは、両面接着テープの厚みが加わることを見込んで行う必要があります。

②位置が確定したら、ガラス面へ両面接着テープで貼り付け(両面接着テープは先にシャーシ底部外面に貼ってください)、更に付属のねじで天井面に固定してください。
※スピーカーケーブルやマイクケーブルを天井側に通す通線穴(15mm以上)の加工は、ねじ穴の加工と同時に行ってください。



これより先の作業は、固定フランジとドライバー<DR-100>のシャーシとの間を採寸しておくこと、比較的簡単に行うことができます。作業に取りかかる前に採寸をして頂き、以下の説明を読みながら作業を行ってください。

③ 下方の別付けアルミ管<UAX-100>を取り付ける。

※ 下方に取り付ける別付アルミ管<UAX-100>は、一般的に1本(1m)で取付ができる場合が多いと思われます。2本または3本を使用する場合の取り付け方は「⑤ 上方の別付アルミ管<UAX-100>」(21ページ)も参考にして作業を行ってください。

採 寸

- 長さを決めます。「ドライバー+音響管ユニット部の数量決定」(13ページ)で測定した寸法が使用できます。
- 音響管ユニット<AI-100>の下端のコネクターに、仮に別付アルミ管<UAX-100>の赤色マーク側を挿しこみ、音響管ユニット<AI-100>が前もって決めた高さの位置になる状態で、別付けアルミ管<UAX-100>の切断すべき下端の位置を決めてください。
- ※ 固定フランジに押し込んだときに底面に当たる位置が、下端を切断する位置です。
- ※ 固定フランジの底面の板厚は2mmです。

切 断

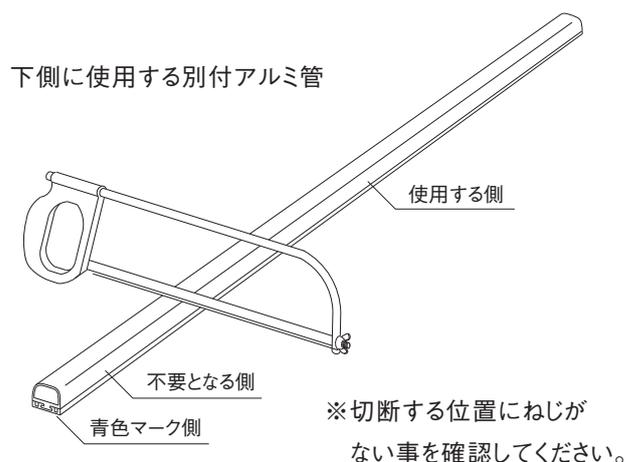
- 別付アルミ管<UAX-100>を適した長さに切断します。
 - 下方の別付アルミ管<UAX-100>を切断する場合は、切断して不要となる側を必ず青色マーク側にしてください。赤色マーク側は接合面になるので、切断しないでください。
- ① まず、別付アルミ管<UAX-100>に取り付けられているジョイントとパッキンを外してください。
- ※ 下方の別付アルミ管<UAX-100>では1本使用の場合、外したジョイントは使用しません。2本以上使用の場合、連結部にはジョイントとパッキンを使用します。

- ② 正しい長さを決定し、切断してください。切断の前にねじが無いことを確認し、ねじがある場合は取り外してください。切断は、別付アルミ管本体と固定ベースを正しく組み合わせた状態で行います(ずれないようにビニールテープなどを巻き付け固定して行ってください)。切断面がアルミ管の長手方向に対して直角になるよう、慎重に作業を行ってください。

ご注意

下方の別付アルミ管は、切断して不要となる側を、必ず青色マーク側にしてください。

- ③ 切断後は、別付アルミ管本体と固定ベースの切断面をヤスリ又はサンドペーパーなどで仕上げ、固定フランジへ挿しこめるようにしてください。

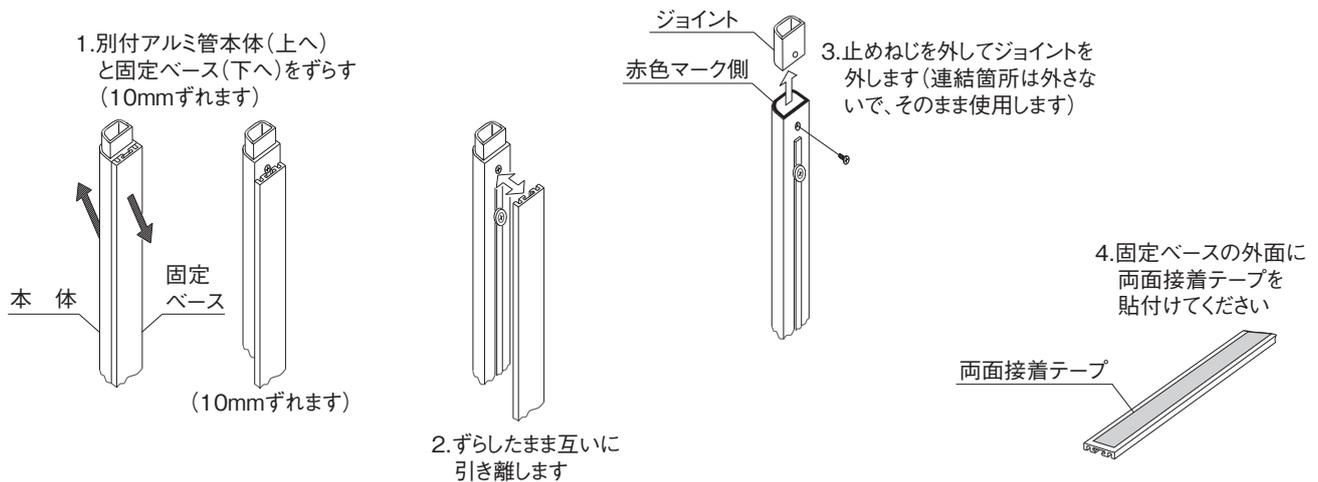


設置作業

貼り付け

①ガラス面への取り付けは固定ベース(別付アルミ管本体は外しておく)を両面接着テープでガラス面に貼り付けることから始めます。まず、別付けアルミ管本体と固定ベースを引き外し、固定ベースの外面(平らな面の側)に両面接着テープを貼り付けてください。

※両面接着テープは係員様側から見えますので、はみ出さないように、または曲がらないように注意しながら貼り付けてください。



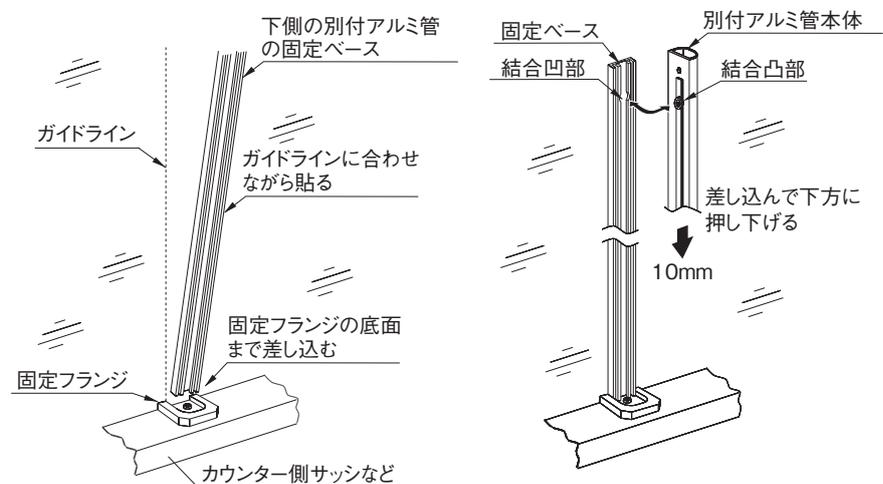
②固定ベースに両面接着テープを貼り終えたら、赤色マークを上にして下端を固定フランジに挿し込み、底に当てながらガイドラインにあわせてガラス面に貼り付けてください。

確認

①貼り付けを終えたら、別付アルミ管本体(赤色マークを上にして)の結合凸部と固定ベースの結合凹部を合わせながら差し込み、下方へ押し下げながら(スライド量は約10mm)固着してください。固定フランジの底まで差し込めて、しっかりと固着できることを確認してください。

②確認後、別付アルミ管本体は外しておいてください。

※両面接着テープの接着力が未だ弱い状態と思われるので無理な力を加えないように注意しながら行ってください。



④音響管ユニット<AI-100>を取り付ける。

○「③下方の別付アルミ管<UAX-100>を取り付ける。」(19ページ)を参照しながら作業をしてください。

①音響管ユニット<AI-100>は赤マークを上側(マイクコードを下側)にして取り付けます。

②音響管ユニット本体から固定ベースを外してください。

③固定ベースに両面接着テープを貼り、赤マークを上側にしてください。下側を別付けアルミ管<UAX-100>の固定ベース上端に当て、固定ベース間にすき間や左右のズレが無いようにして、ガイドラインに合わせてガラス面に貼り付けてください。

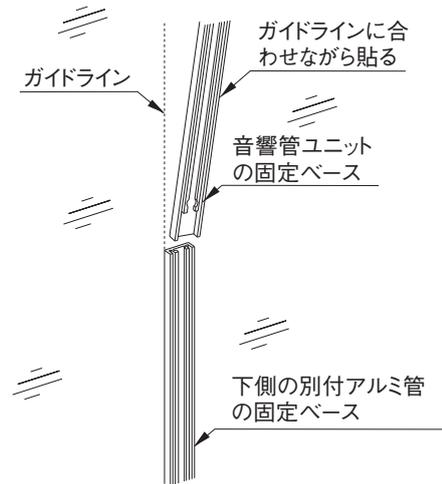
※音響管は連結して完成させるので、上下の固定ベースは左右にズレ無く取り付けてください。

④貼り付けを終わったら、音響管ユニット本体の結合凸部と固定ベースの結合凹部を合わせながら差し込み、下方へ押し下げて(スライド量は約10mm)固着してください。

⑤上下の固定ベースの境い目まで押し下げて、しっかりと固着できることを確認してください。

⑥確認後、音響管ユニット本体は外して置いてください。

※両面接着テープの接着力がまだ弱い状態とされます。
無理な力を加えないように注意しながら行ってください。



⑤上方の別付アルミ管<UAX-100>を取り付ける。

○上方に取り付ける別付アルミ管<UAX-100>は、天井の高さによって必要となる本数が異なります。

○例えば、音響管ユニット<AI-100>の上端から1.5mが必要な場合は、別付アルミ管<UAX-100>を2本準備し、その内の1本を50cmで切断し連結して1.5mのチューブとして使用します。

○切断の仕方/引き離し方/両面接着テープの貼り方/ガラス面への貼り方等の手順は、下方の別付アルミ管<UAX-100>の場合とほぼ同じとなります。主に相違する点を記述しています。

図などを含めて、「③下方の別付アルミ管<UAX-100>を取り付ける。」(19ページ)も参照してください。

採寸

○長さを決めます。「ドライバー+音響管ユニット部の数量決定」(13ページ)で測定した寸法が使用できます。

○すでに取り付けてある音響管ユニット<AI-100>の固定ベースの上端と、上方の別付アルミ管<UAX-100>の青色マーク側の位置を合わせ、ドライバー<DR-100>のシャシの下からドライバー内部に10mmの位置を切断位置に決めてください。

切断

○上方の別付アルミ管<UAX-100>を切断する場合は、切断して不要となる側を必ず赤色マーク側にしてください。青色マーク側は結合面になりますから切断しないでください。(下方用と上方用とでは、切断面は逆になりますので注意してください。)

○外したパッキンは音響管ユニット<AI-100>の上端に取り付けてください。

設置作業

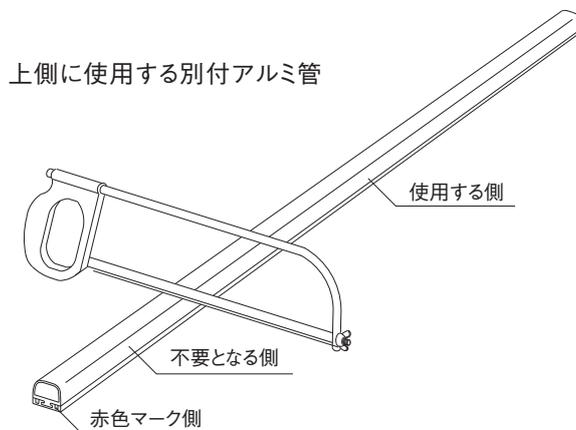
○上方の別付アルミ管<UAX-100>でも、1本使用(1m以下での使用)の場合は、外したジョイントは使用しません。2本以上使用の場合は、(1mのまま加工せずに使用する方の別付けアルミ管の)ジョイントとパッキンは、そのままで使用します。

①正しい長さが決定したら、切断してください。

ご注意

上方の別付アルミ管は、切断して不要となる側を必ず赤色マーク側にしてください。

②切断後は、別付けアルミ管本体と固定ベースのマークをヤスリ又はサンドペーパーなどで仕上げてください。切断面は、完成時にゴムノズルでドライバーと結合されます。



貼り付け

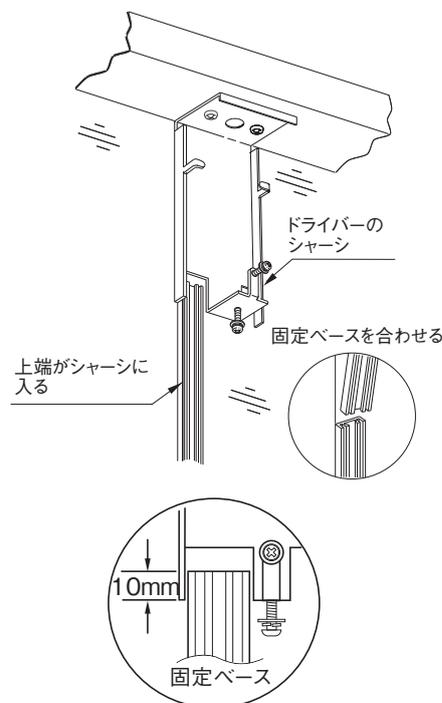
①固定ベースの外側面(平らな面の側)に両面接着テープを貼り付けてください。

※両面接着テープは係員様側から見えますので、はみ出さないように、また曲がらないように注意しながら貼り付けてください。

②固定ベースに両面接着テープを貼り終わったら、青色マークを下側にして、すでに取り付けてある音響管ユニット<AI-100>の固定ベースの上端に当て、左右にズレが無いように、垂直ガイドラインにあわせてガラス面に貼り付けてください。

③上端がドライバー<DR-100>のシャーシから右図のように10mmで取り付けられれば正しい位置です。

※音響管は連結して完成させるので、上下の固定ベースは左右にズレ無く取り付けてください。



確認

①貼り付けを終えたら、別付アルミ管本体を固定ベースに挿し込み、下方へ押し下げて(スライド量は約10mm)装着状態を確認してください。装着状態確認中に別付けアルミ管本体が滑り落ちる恐れがありますので、手を離さないでください。

②確認後、別付アルミ管本体は外してください。

※両面接着テープの接着力が未だ弱い状態とされますので、無理な力を加えないように注意しながら行ってください。

以上で、固定フランジ／固定ベース／ドライバー(シャーシ)の取り付けは完了です。
次に、ケーブル類の接続を行いながら、各部を装着していきます。

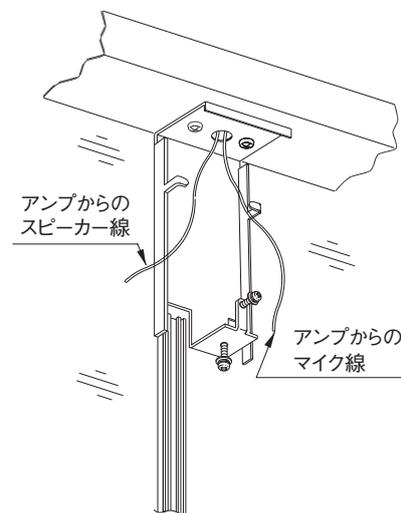
3 接続の手順

○ドライバー+音響管ユニットとアンプ<MU-100>の間のケーブルを接続するための作業を、お客様側から始めます。

①アンプ<MU-100>から送られてくるケーブルを処理する。

①係員様側のアンプ<MU-100>から送られてくる送話出力スピーカー線と受話入力マイク入力線を、ガラス面に固定したドライバー<DR-100>のシャーシの通線穴から引き出してください。

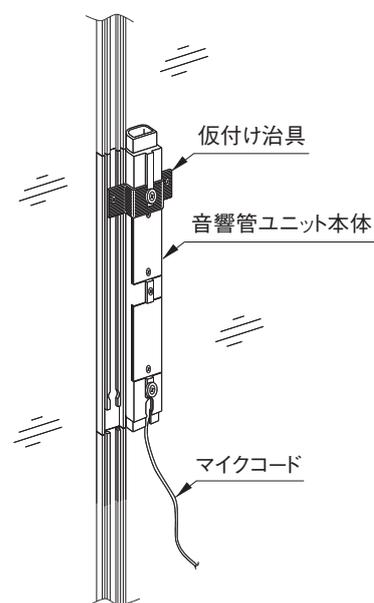
②引き出した線は、長さ約20cmで切断してください。



②音響管ユニット<AI-100>の本体を仮付けする。

○音響管ユニット<AI-100>の本体を、所定の位置の固定ベースの横に、治具を使用して仮付けしてください。

※固定ベースを建築サッシと接近して取り付けられている場合などには、音響管ユニット本体を建築サッシとは反対側に仮付けしてください。



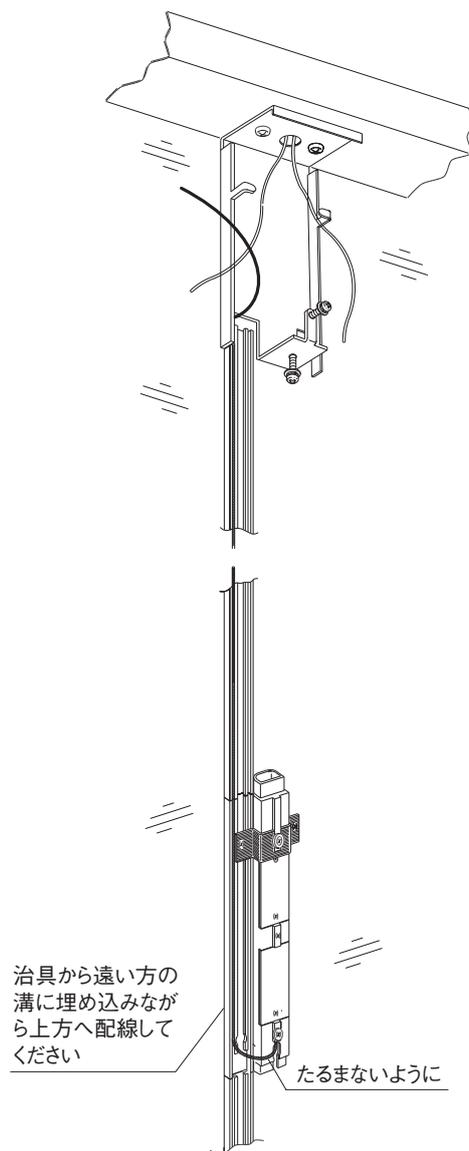
設置作業

③ マイクコードを埋め込み配線する。

① 仮付けした音響管ユニット<AI-100>の本体下端から出ているマイクコードを、固定ベースのコード用溝に上方に向かって埋め込みながら、ドライバー<DR-100>のシャーシの中まで配線してください。

② 止めたコードは余長約30cmで切断しておいてください。

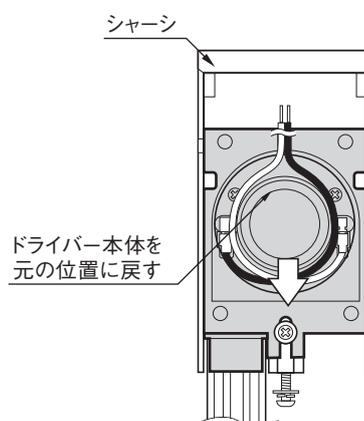
※コードを埋める溝は、音響管ユニットを仮付けした側から遠い方の溝を使用してください。音響管ユニットを固定ベースに装着する際に、コードの納まりが良くなります。



④ ドライバー<DR-100>のシャーシにドライバー本体を取り付ける。

○外しておいたドライバー本体をシャーシの元の位置に戻してください。

※ドライバー本体を戻すときは、ケーブル類はドライバーの上方(天井面側)から出しながら行ってください。



次に音響管を完成させる装着作業を行います。

4 装着の手順

○下方の別付アルミ管<UAX-100>、音響管ユニット<AI-100>、上方の別付アルミ管<UAX-100>の本体を装着し、最後にドライバー<DR-100>を固定して、お客様側の機器取り付けを完成させます。

① 下方の別付アルミ管<UAX-100>本体を装着する。

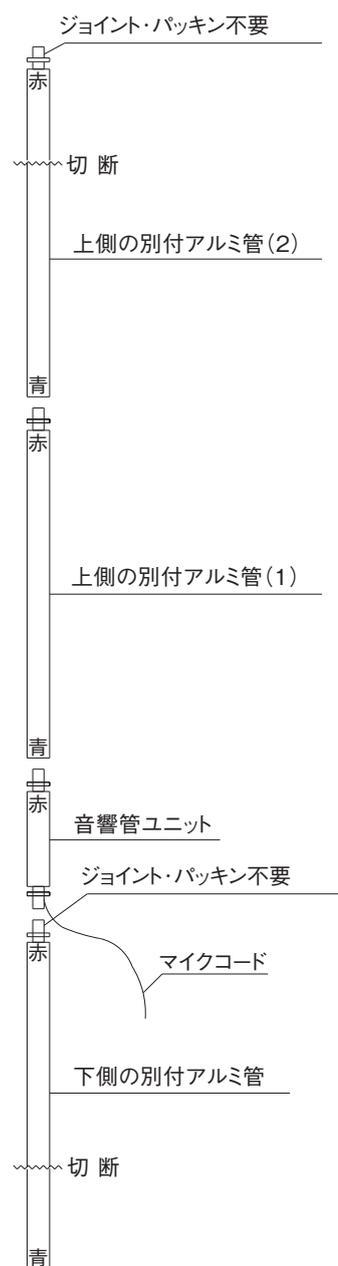
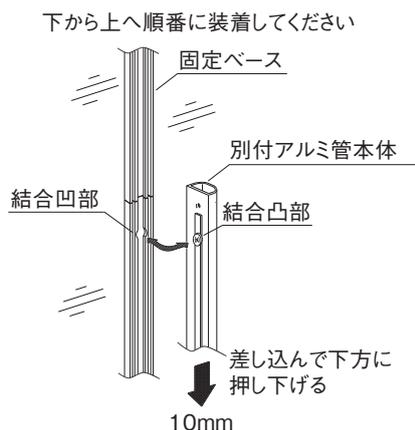
- ① 別付アルミ管本体(赤色マークを上にして)の結合凸部と固定ベースの結合凹部を合わせながら差し込み、下方へ押し下げながら(スライド量は約10mm)装着してください。
- ② 固定フランジの底まで挿し込み、しっかりと装着してください。

② 音響管ユニット<AI-100>本体を装着する。

- ① 音響管ユニット本体から仮付け治具を取り外してください。
- ② 音響管ユニット本体の下側から出ているマイクコードを固定ベースのコードスペースに収めながら、本体の結合凸部と固定ベースの結合凹部を合わせて挿し込んでください。
- ③ コネクターを下方の別付アルミ管<UAX-100>に入れながら、押し下げて(スライド量は約10mm)装着してください。

③ 上方の別付アルミ管<UAX-100>本体を装着する。

- ① 別付アルミ管本体(青色マークを下にして)の結合凸部と固定ベースの結合凹部を合わせながら挿し込んでください。
 - ② 音響管ユニット<AI-100>のコネクターに入れながら、下方へ押し下げて(スライド量は約10mm)装着してください。上端はドライバー<DR-100>の端から10mm付近になるようにしてください。
- ※ドライバー本体のゴムノズルを傷つけないように注意してください。



設置作業

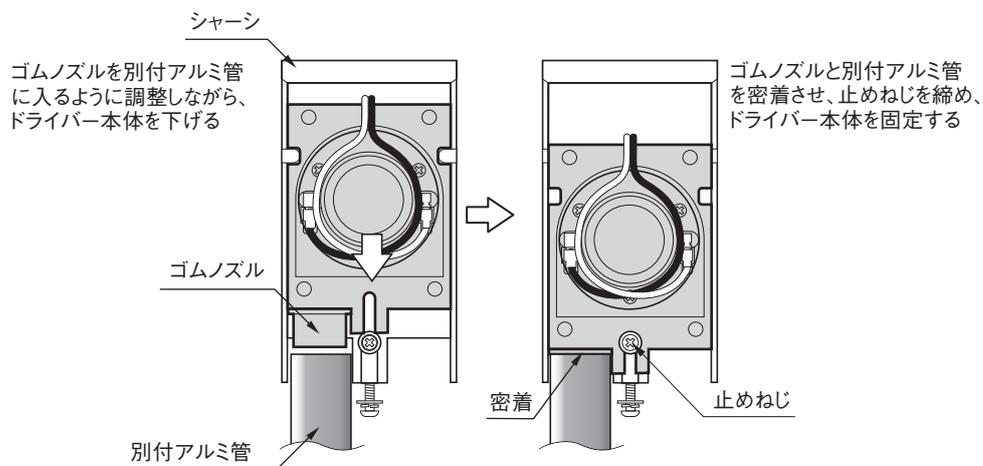
④ドライバー<DR-100>のドライバー本体を固着する。

①ドライバー本体を軽く止めている止めねじをゆるめて、ドライバー本体がスライドできるようにしてください。

②ドライバー本体を下方へ引き下げながら、別付けアルミ管<UAX-100>本体の口穴に、ゴムノズルを傷つけないように、注意しながら挿入してください。

※ゴムノズルの先端が別付けアルミ管本体に当たるまでドライバー本体を引き下げたとき、ゴムノズルを少し動かして別付アルミ管の穴に入りやすく調整するとスムーズに作業できます。

③ゴムノズルをすべて挿入できたら、ゴムノズルの密封効果が得られるまでドライバー本体をさらに引き下げた状態で、ドライバー本体の止めねじを正式に締めてください。



④外しておいたドライバー<DR-100>のカバーを止めてください。

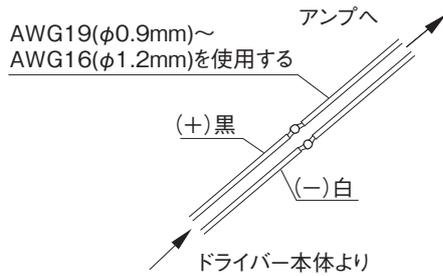
ご注意

取付後に落下防止の措置を行ってください。

⑤ケーブル類をジョイントする。

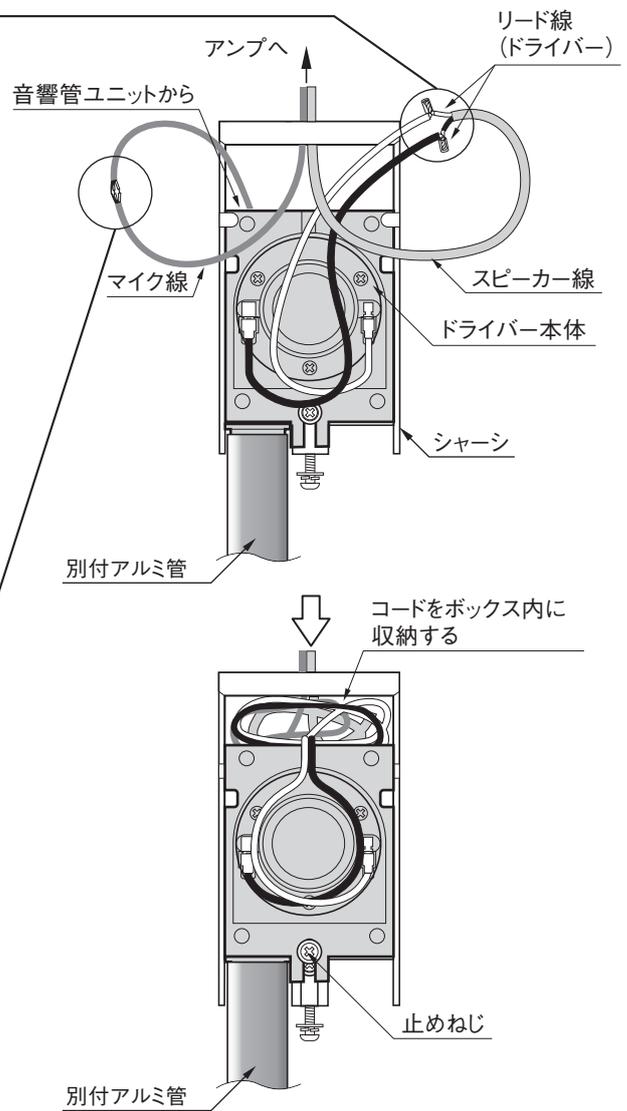
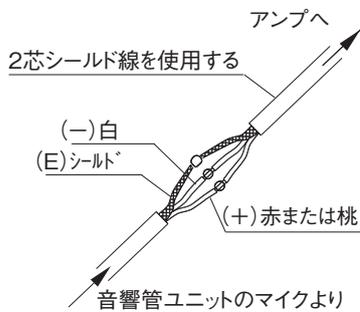
スピーカー線

○天井面の通線穴から引き出しておいた、係員様側のアンプ<MU-100>から送られてきた送話出力スピーカー線と、ドライバー<DR-100>のドライバー本体から出ている入力線をジョイントしてください。



マイク線

○天井面の通線穴から引き出しておいた、係員様側のアンプ<MU-100>から送られてきた受話マイク入力線と、音響管ユニットから立ち上げてきたマイク入力線をジョイントしてください。



※ジョイントは絶縁可能な方法で行ってください。絶縁圧着をお勧めします。

※カバーをかぶせて終了するときには、ケーブル類をまとめてボックス内に収めますので、線長を必要最小限にとどめて作業してください。

※接続は極性に注意して行ってください。

以上で、お客様側の接続作業が終わり、音響管方式のお客様側の作業は完了です。

設置作業

別置きマイクと外部スピーカーの取り付け・接続 別置MIC/SP方式

◆別置きマイクの場合

1 取り付けの手順

①配置を決める。

○配線ルートなどをあらかじめ検討して、配置を決めてください。お客様の口の高さで、左右には300mm～400mm程度離れた位置が適しています。

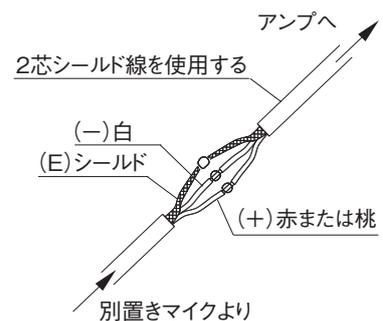
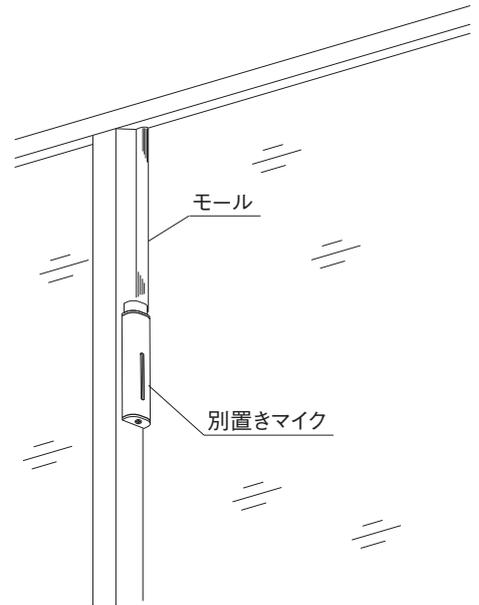
②両面接着テープで貼付ける。

○建築サッシなどに沿わせて両面接着テープで貼り付けます。予め接着する面を清掃してから貼り付けください。両面接着テープには、アルミとガラス面を接着する強力な工業用テープを使用してください。

2 接続の手順

①別置きマイクからの電線とアンプからの電線をジョイントする。

○別置きマイクからの2芯シールド電線とアンプからの2芯シールド電線をジョイントします。
※ジョイントは絶縁を施してください。
※配線はサッシ内かモールなどを使用して行ってください。
※極性に注意してジョイントしてください。



◆外部スピーカーの場合

1 取り付けの手順

①配置を決める。

○お客様の頭上方向で、配線ルートを考慮して取付位置を決定してください。

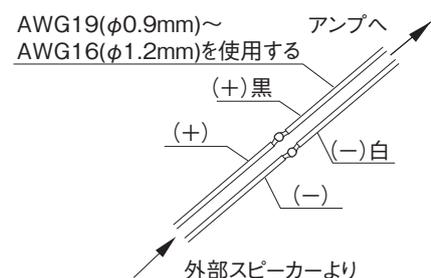
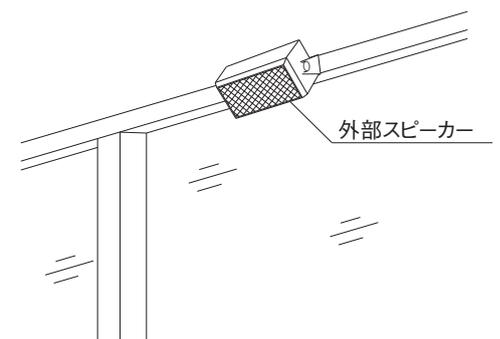
②説明書に従い、取り付ける。

○外部スピーカーの説明書に従い、取り付けてください。

2 接続の手順

①スピーカーからの電線とアンプからの電線をジョイントする。

○スピーカーからの電線とアンプからの電線をジョイントします。
※ジョイントは絶縁を施してください。
※配線はサッシ内かモールなどを使用して行ってください。
※極性に注意してジョイントしてください。



室内機器の取り付け・接続

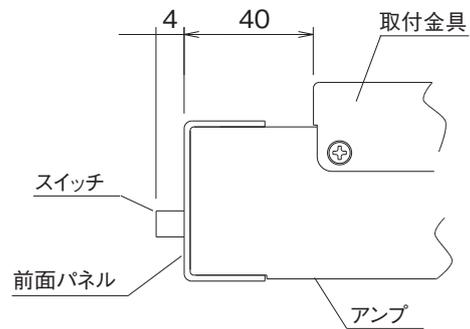
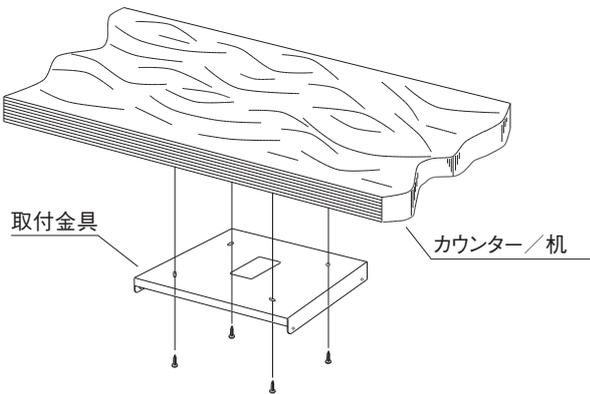
共通

1 アンプの取り付け・接続

- アンプ<MU-100>は係員様側のカウンター机の下側などに取り付けます。
- 他の機器とのケーブルの接続は、後で取り外して行います。

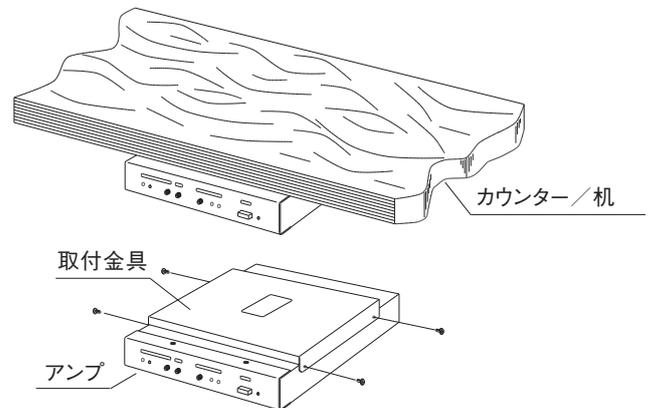
① アンプ取付金具を取り付ける。

- アンプ<MU-100>を取り付ける位置に、アンプ取付金具を付属の4本のねじで取り付けてください。
- ※取付金具とアンプの前面パネルとの位置関係は図の通りです。カウンターからつまみなどが前に出ないように、安全な位置に決定してください。



② アンプ<MU-100>を取付金具に取り付ける。

- 取付金具にアンプを付属のねじ4本で仮に取り付けてください。
- ※正式に取り付ける前にアンプを当ててみて、つまみなどの出かたを確認してください。
- 確認を終えたら、いったん取り外して次に接続を行います。



3 ACアダプターの設置と接続

①安全な場所に設置する。

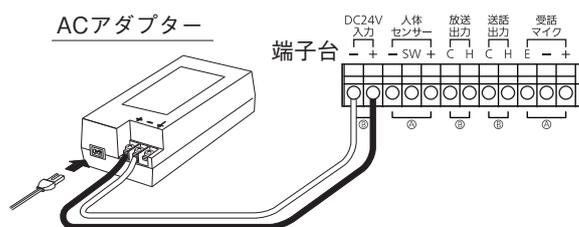
○ACアダプターは、カウンターの下など電源コンセントとの間の安全な場所に置いてください。
※熱がこもったり水が掛かったりするような場所を避けて、埃にも注意をして場所を選んでください。

②アンプ<MU-100>と接続する。

○ACアダプターの2次側ケーブルの先端を、アンプ<MU-100>の差込端子台のDC24V入力[+]端子に、極性を間違えないように差し込んでください。

ご注意

DC24V 1A以上のものをご使用ください。



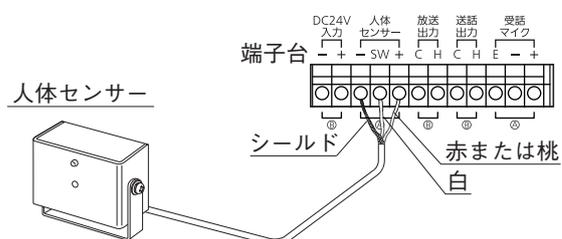
4 人体センサー<USE-100>の設置と接続

①設置する。

○人体センサー<USE-100>は、お客様側のカウンター横か上に取り付けます。
※ホコリなどでセンサーのレンズが汚れると動作に支障が出ます。必要に応じて防護策を講じてください。

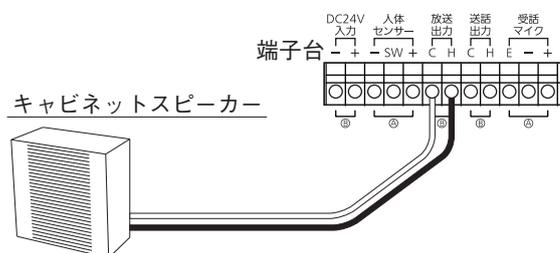
②アンプ<MU-100>と接続する。

○人体センサー<USE-100>の出力線(2芯シールド線)をアンプ<MU-100>の差込端子台の人体センサー[+SW-]端子に、極性を間違えないように挿し込んでください。



5 ページング用スピーカー(別売)の設置と接続

○ページング用スピーカーには、インピーダンス4Ω~8Ωで定格入力3W以上のものを使用してください。
○壁掛けスピーカー、天井埋め込みスピーカー、ホーンスピーカーなどページング放送エリアに適した形式のものを選んで使用し、取り付けはそれぞれの説明書を利用して行ってください。



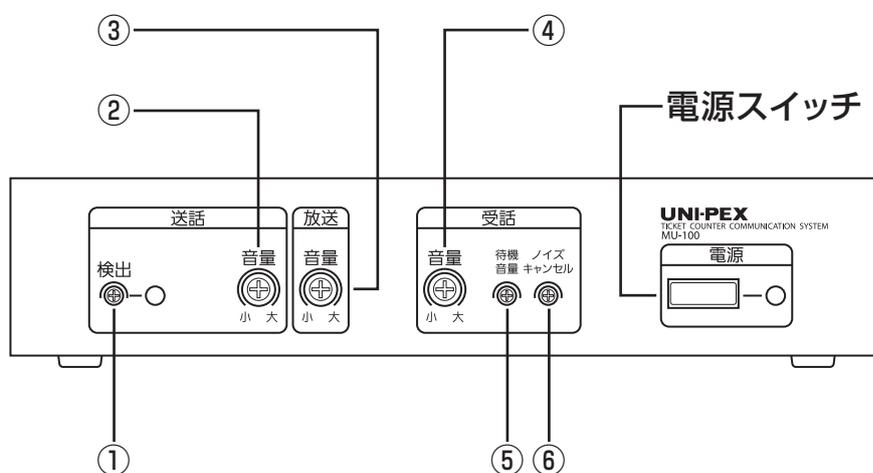
調節

調節を始める前に

1. 取り付けと接続の全ての作業が完了していることを確認してください。
2. 全てのスイッチが「切」、全ての調節器が反時計回りに廻して最小の位置になっていることを確認してください。
3. [アンプ]の電源スイッチを「入」にしてください。
4. [操作ユニット]の通話スイッチを「入」にして(使用法によっては外付けスイッチも「入」にする)通話ができる状態にしてください。

- 使用状況に応じて、[アンプ]の音量や検出感度などを調節してください。
調節は[アンプ]の各調節器で行います。

調節器配置図



① 検出感度調節器

- 検出回路の感度を調節します。
係員様の音声を検出している間(緑色LEDが点灯している間)は、係員様側の音声が優先され、お客様側からの音声が遮断されます。

- ① 検出感度調節器と送話音量調節器を少し時計回りに廻して、お客様側で送話音を聞ける状態にしてください。
- ② 使用時の機器配置で、係員様にお話してもらいながら調節します。
- ③ 検出感度調節器を時計回りに廻し、音声に反応して緑色LEDが点灯するように調節します。
送話の立ち上がりで点灯し、送話の終了で消灯する位置に調節してください。
※感度を上げ過ぎると、周囲の雑音を検出することがあるので、ご注意ください。
- ④ 安定してLEDが点灯する範囲で、調節器を最小の位置にしてください。
※お客様側で音声を確認しながら行くと調節が容易です。

② 送話音量調節器

- 音量の調節をします。
※係員様にお話してもらいながら行います。

- ① [操作ユニット]の音量スイッチを「大」にしてください。
- ② 送話音量調節器を時計回りに廻して、お客様側で適した音量になるよう調節してください。
- ③ 音量が大きすぎると、ハウリングを起こしたりして不都合が生じますので注意してください。
- ④ 必要があれば、「① 検出感度調節器」の感度調節を再び行ってください。

③放送音量調節器

○ページング放送の音量を調節します。

※ページング放送用スピーカー（別売）を設置しているシステムの場合のみ調節が必要です。

※係員様にお話してもらいながら行います。

- ①[操作ユニット]の音量スイッチを「大」にしてください。
- ②放送スイッチを押しながらお話し、放送音量調節器を時計回りに廻して、ページング用スピーカーから出る音声に適した音量になるよう調節してください。
- ③ページング放送は、送話／受話／待機のいずれの状態でも、優先して行われます。

④受話音量調節器

○受話音量を調節します。

- ①[操作ユニット]の音量スイッチを「大」にしてください。
- ②お客様側の立つ位置で試験的に話してもらいながら、受話音量調節器を時計回りに廻して、適した音量に調節してください。
- ③音量を大きく調節しすぎると、ハウリングを起こしたり送話の検出回路が感知したりして不都合が生じますので注意してください。

⑤待機音量調節器

○待機状態の受話音量を調節します。

- ①[操作ユニット]の通話スイッチを「切」にして（使用法によっては外付けスイッチも「切」にする）待機状態にしてください。
- ②[操作ユニット]の音量スイッチを「大」にしてください。
- ③お客様側の立つ位置で試験的に話してもらいながら、待機音量調節器を時計回りに廻して、待機状態に適した音量に調節してください。
- ④時計回りに廻して最大で、「入」のときの1/2の音量です。反時計回りに廻して最小で無音です。
- ⑤適音になったら、通話スイッチを「入/切」して通話時と待機時の音量差を確認してください。

⑥ノイズキャンセル量調節器

○ノイズキャンセル（お客様側の遠方から来る騒音の受音量を軽減する機能）量を調節します。

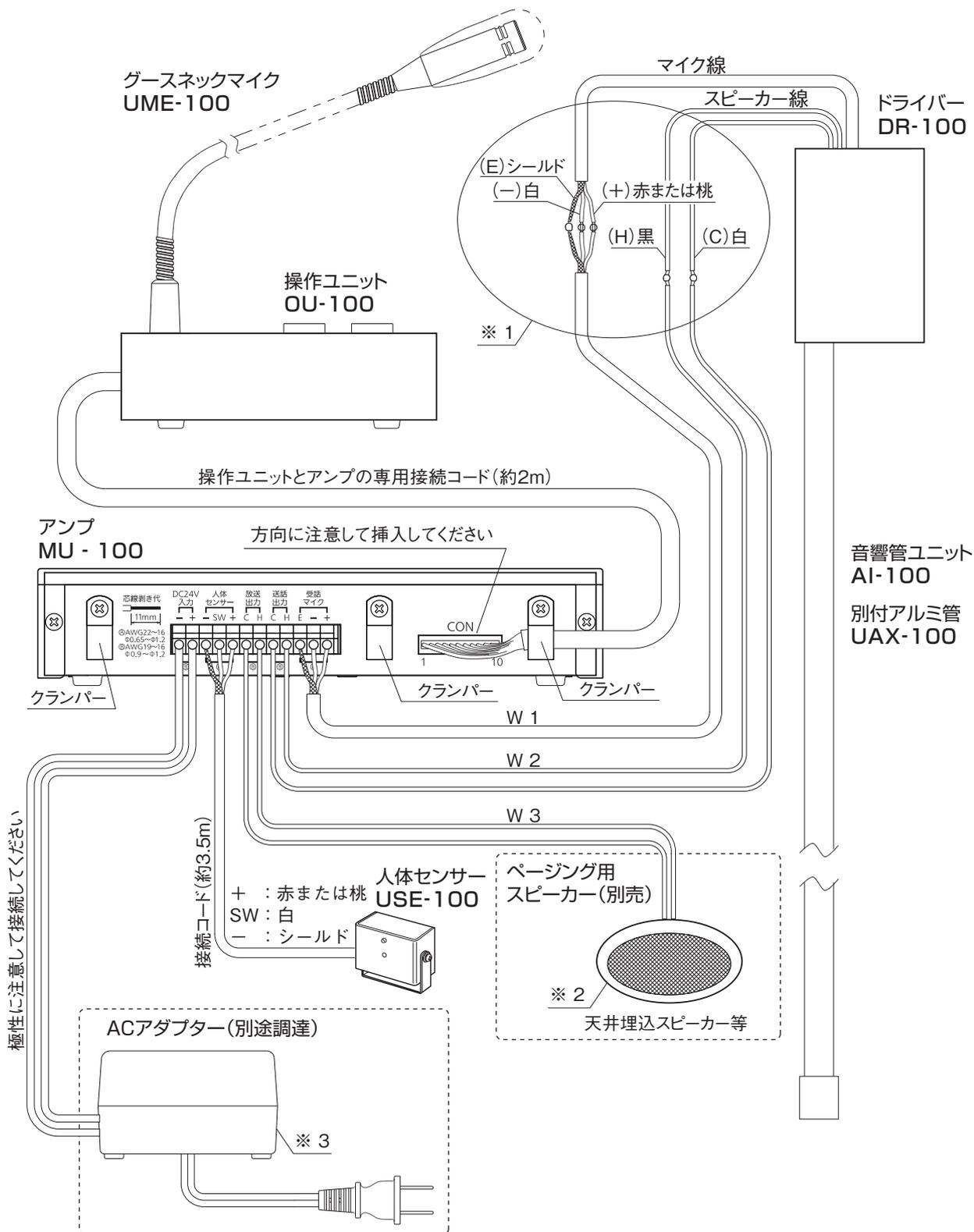
※出荷時の調節位置（反時計回りに廻して最小の位置）で不都合が無ければ、調節は不要です。

※調節はヘッドセットを使用した方が容易です（スピーカー側のみ使用）。

操作ユニットをグースネックマイクと内蔵スピーカーで使用する場合も、ヘッドセットを仮接続しての調節をお勧めします。

- ①軽減したい騒音を受音しながら、ノイズキャンセル量調節器を時計回りや反時計回りに廻しながら、騒音の受音量が軽減される位置に合わせてください。
 - ②お客様の位置からお話してもらい、受話の音声の大きさに支障が無いことを確認してください。
- ※お客様の声の音量を適音にすることを優先してください。また、この機能は騒音の受音量を軽減するものであり、騒音を無音にするものではありません。ご注意ください。

総合接続図



ご注意

- ・ W1 : マイクロホンケーブルには2芯シールド線をお使いください。
- ・ W2、3 : スピーカーケーブルにはAWG19(φ0.9mm)～AWG16(φ1.2mm)の電線をお使いください。
- ※1 : ケーブルのジョイント部は必ず絶縁を施してください。
- ※2 : ページング用スピーカーには、4～8Ωで定格入力3W以上のものが適しています。
- ※3 : DC24V 1A以上のものをご使用ください。

定 格

操作ユニット+アンプ (UMU-100)

使 用 電 源	DC24V
定 格 消 費 電 力	120mA(スタンバイ)、780mA(最大)
使 用 温 度 範 囲	0°C~40°C
送 受 話	送話 3W 4Ω 受話 1.5W 16Ω
ヘ ッ ド セ ッ ト	ヘッドホン : 32Ω 40mW φ3.5プラグ 送話マイク : -62dBV 2kΩ(エレクトレットコンデンサーマイクロホン)
接続用外部スピーカー	4Ω~8Ω 定格入力3W以上
接続用ページングスピーカー	4Ω~8Ω 定格入力3W以上
外 装	鋼板
寸 法	MU-100 高さ: 46mm 幅: 210mm 奥行き: 206mm OU-100 高さ: 50mm 幅: 130mm 奥行き: 160mm
質 量	MU-100 約1.3kg OU-100 約700g

ドライバー+音響管ユニット (UAI-100)

使 用 温 度 範 囲	0°C~40°C
ス ピ ー カ ー	4Ω 3W
マ イ ク ロ ホ ン	無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
入 力 感 度	-41dB
外 装	アルミニウム
寸 法	DR-100 高さ: 150mm 幅: 84mm 奥行き: 36mm AI-100 高さ: 388mm 幅: 27mm 奥行き: 24mm
質 量	DR-100 約300g AI-100 約400g

グースネックマイク (UME-100)

マ イ ク ロ ホ ン	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
入 力 感 度	-46dB
寸 法	グースネック長: 510mm
質 量	約150g

別置きマイク (UME-150)

マ イ ク ロ ホ ン	無指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
入 力 感 度	-45dB
寸 法	高さ: 115mm 幅: 23mm 奥行き: 13mm
質 量	約150g

別付アルミ管 (UAX-100)

外 装	アルミニウム
寸 法	高さ: 1,009mm 幅: 27mm 奥行き: 24mm
質 量	約650g

人体センサー (USE-100)

使 用 電 源	DC24V
消 費 電 力	5mA(スタンバイ)、13mA(最大)
使 用 温 度 範 囲	0°C~40°C
外 装	アルミニウム
寸 法	高さ: 50mm 幅: 68mm 奥行き: 30mm
質 量	約120g

外観寸法図

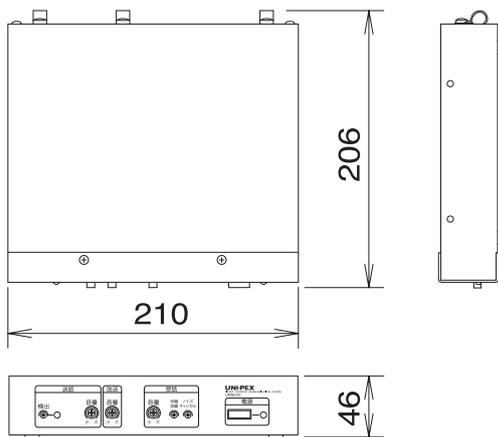
(単位 mm)

操作ユニット+アンプ

UMU-100

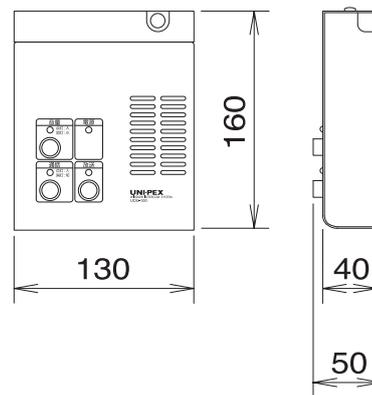
アンプ

MU-100



操作ユニット

OU-100

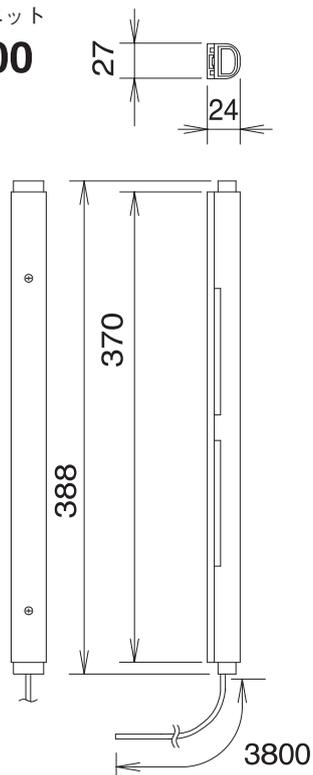


ドライバー+音響管ユニット

UAI-100

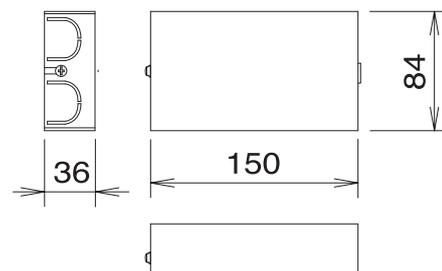
音響管ユニット

AI-100



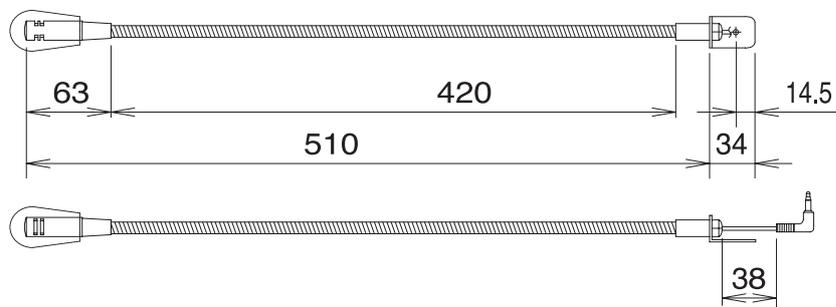
ドライバー

DR-100



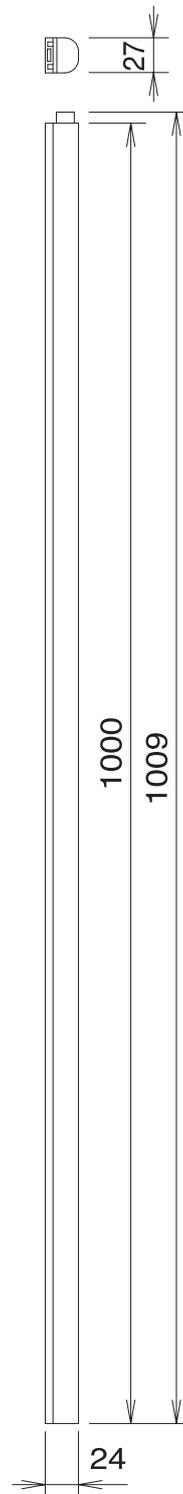
グースネックマイク

UME-100



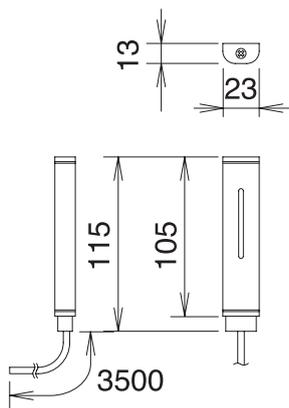
別付アルミ管

UAX-100



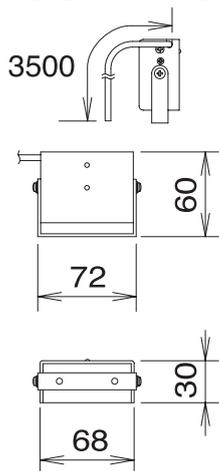
別置きマイク

UME-150



人体センサー

USE-100



サポートのご案内

- 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

- 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



- その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 (通話料無料)

お客様ご相談センター

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、
ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。
個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を
除き、第三者に提供または開示いたしません。

操作ユニット+アンプ UMU-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 -----様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 -----印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**

ドライバー+音響管ユニット UAI-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 -----様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 -----印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**

グースネックマイク UME-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 -----様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 -----印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**

別置きマイク UME-150 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 -----様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**

別付アルミ管 UAX-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 -----様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**

人体センサー USE-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 -----様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**